

学 校 通 信

群馬県立あさひ特別支援学校



あさひだより

平成31年 3月22日(金) 第366号

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は、第1回学校評価アンケートでAとBの合計が70.8%で、その後改善に取り組んだ「医療関係者との連携」についてのご意見をいただきました。

以下に、集計結果をご報告します。

○ 回答率70.4%(29/24/23) 括弧は実数 小学部/中学部/高等部の順

A:十分に満足できる B:満足できる C:もう少しで満足できる D:満足できない E:わからない

III 児童生徒一人一人の健康や安全の確保について

2 学校は、医師や理学療法士、作業療法士等からのアドバイスを生かして、児童生徒の健康上の配慮や指導を行っている。

A13.9%(5/2/3) B66.7%(19/15/14) C11.1%(0/5/3) D0.0%(0/0/0) E8.3%(1/2/3)

A+B=80.6%で、第1回より評価は上向きました。来年度も引き続き検討・改善を重ね努力していきたいと思います。

その他、いただいたご意見

★：ご意見（原文のまま掲載してあります。） ☆：回答

★：車いすの件や補装具に関して、色々と意見交換してくださるので親の私が気づかないことなどもあり、助かります。

☆：ありがとうございます。今後もお役に立てるように専門性を高めつつ、関係各所と連携を図っていきたいと思います。

★：正面玄関の施錠時間を調整してほしい。

☆：ご迷惑をおかけいたします。正面玄関は事務職員が受付にいますが、児童生徒玄関は現在防犯カメラも設置されていない状況ですので、登下校時以外の監視の目の手薄な時間は出入りを制限させていただいています。不審者対応、防犯上の観点から、何卒ご理解ください。

★：資料として残すことだけが目的でないことを祈ります。医ケアこれからなのでいまはわからないにまをしました。学校では急変なくすごせているので今まで築き上げられてきたものにお世話になっているのだと信じています。

☆：校内では「ヒヤリ・ハット」の記録を始めとし、様々な事態を記録・検証し、反省材料として活かしています。これからも、緊急事態を招かぬよう、また、緊急事態が発生した場合には適切に対応できるよう、リスクマネジメント、クライシスマネジメントに努めてまいります。

★：歩行器の活用が少なく思えます。学校は広く、歩行器を活用するのに良い場所ですので運動が必要な子です。リハの先生にも運動できるだけするように指導されていますのでよろしくお願いします。

☆：ご意見、ありがとうございます。個々の児童生徒の実態によって対応に差は生じるかと思いますが、必要な児童生徒については、積極的に活用に取り組んでいきたいと思っています。

★：「教科担任制」について。とても良いことだと思いますが、定期テストの内容など、情報共有や連携があまりとれていないように見受けられます。また、専門外の教科を担当されているケースもあるようですが…。人事など諸事情により難しいと思われそうですが、さらなる向上を目指していただけるとありがたいです。

☆：ご意見、ごもっともです。同一科目を複数の教科担当で受け持つ場合、授業進度や内容、試験の難易度、評価に関して、あるいは教科横断的に、例えば主要5教科の中で、または実技系教科の中で、宿題の分量や児童生徒の負担などに関して、情報共有、連携を今まで以上に図っていきたいと思います。また、できるだけ一人ひとりに応じた学習グループを作っていく中ではご指摘のとおり専門ではない教科を担当する場合がありますが、その場合も、専門の教員から、教授法の助言を受けたり、教材研究を綿密に行ったり、授業を公開して様々な方面からアドバイスをもらうなど、授業改善に努めています。

★：とくになにもありません！！

☆：ありがとうございます。何かお気づきになりましたら、お伝えください。

★：今年度から始まった健康相談について。1回目の時、申し込みましたが、がっかりでした。事前に相談内容を記入して申し込んでいるのに担当の医師は当日初めて見たようで、こちらの質問には全く答えてくれませんでした。「お宅のお子さんを知らないのでも一般論でしか言えませんが…」と見当違いの話をされ、しまいには「お母さんお悩みがあるなら私の病院へ相談にいらして下さい」と。障害児の子育てに悩んでいる保護者を精神科へ案内するための相談会なのかと思いました。申込みの相談内容に答えられないのなら事前に確認し、断っていただきたかったです。時間のムダだし、何か解決方法が見つかるかもという期待も少しあったので、解決どころか「病んでる人」扱いされた感じになり本当に行かなきゃ良かったと思いました。

☆：落胆、不愉快な思い、徒労感を味わわせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今年度からスタートした事業ですので、様々な部分で連携が上手くいかなかったのかもしれませんが。来年度以降は保護者、学校、医師の意思疎通、連携の仕方を改善しながらより良い形を模索していきたいと思います。

★：①毎朝エレベーターのボタンの静電気にビクビクしていたので除去シールが設置されて大変助かりました。ありがとうございます。
②修学旅行や進路のこともあるので可能な限り高2→高3は担任がかわらないことを切に願っています。医ケアに慣れている先生と安心して修学旅行に行きたいです。
③修学旅行もあちこち行くよりディズニーなどの施設の方がバリアフリーになっているので、子どもたちも過ごしやすいと思いますが、行き先の変更はないのでしょうか？

☆：①ありがとうございます。小さなことですが、学校側の努力に気付いてくださり、こちらとても嬉しいです。
②保護者としての思い、痛いほど分かります。可能な限りその気持ちにより添いたと思います。校内の職員配置を考える場合、様々な要素に左右されます。所有教員免許状、年齢、性別、特別支援学校の経験年数、医療的ケアの経験、等々。学校全体を考えた場合、ご期待に添えない場合もあるかもしれません。そうなった場合、只管平伏するしかありません。本当に申し訳ございません。
③小学部はより良い修学旅行を目指し、来年度変更を検討していますが、中学部、高等部は今のところ来年度につきましては大きな変更はない予定です。子どもたちの一生の思い出に残るように、どの学部も努力しています。

★：給食のメニューがワンパターンしているのと、あまり美味しくないと言っています。もう少しかんがえて下さい！

☆：ご期待に添えず、申し訳ございません。現在も、限られた予算、限られた施設、限られた人員、限られた時間で普通食と特別食（初期食、中期食、後期食）の提供や、アレルギー対応（豚禁、鶏禁、大豆禁、ごま油禁等）に努めております。その中で、子どもたちの安全や健康を最優先に、今後さらに食べる楽しさ、喜びの充実を図っていきたいと思います。

★：いつもよくみていただきありがとうございます。満足しています。

☆：ありがとうございます。その一言で本校の教職員は頑張れます。